

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007
FAX03-3261-5453

民意を反映する選挙制度実現
比例定数削減反対！ 運動情報

第 436 号 本号 2 ページ

2014 年 4 月 25 日（金）

日本を「戦争する国」にする日米同盟強化に反対！！ 日米首脳会談について憲法会議が声明

憲法会議は 4 月 25 日、24 日おこなわれた日米首脳会談についての「声明」を発表し、政府や政党、報道関係機関に送付しました。

「声明 日米首脳会談について」全文は以下のとおりです。

【声明】 日米首脳会談について

2014 年 4 月 25 日
憲 法 会 議

1. 安倍首相とオバマ米大統領は 4 月 24 日、東京で日米首脳会談を行いました。
この会談では、「日米同盟の強化」が強調され、安倍首相が「集団的自衛権と憲法の関係について、安保法制懇が検討中であり、その報告を受け、政府見解を出す」とし、オバマ大統領はこれに「歓迎し、支持する」と応じたとされています。
これらは、政府見解で日本国憲法をないがしろにし、しかもそれを国際公約として、日本国憲法に逆らい、日本を「戦争する国」「海外で武力行使する自衛隊」にしようとするものです。
憲法会議は、こうした日米同盟の強化は、安倍政権が強引に進めている集団的自衛権講師容認とその実施のための関係法律などの「改正」、日米防衛協力のガイドラインへの反映などの一連の危険な動きとして断固として反対します。
2. 首脳会談では「共同声明」がだされないという異例の事態となっています。
これは、安倍政権の歴史認識問題でアメリカ政府が表明している懸念や「失望」を背景に、集団的自衛権行使容認に対する慎重な対応の結果でもあり、TPP交渉をめぐる国民とのほげしい矛盾を反映したものにほかなりません。
3. 今日、広範な国民は、解釈で憲法 9 条を破壊するという安倍首相の立憲主義をないがしろにしたやり方に対しても、また集団的自衛権行使や海外での武力行使を容認しようという危険な姿勢と策動に反対しています。この世論を逆なでする今回の日米首脳会談は、国民との矛盾をさらに深めるだけでなく、平和を願う世界の世論にも逆行するものです。
憲法会議は、67 回目の憲法記念日を前にして、改憲めざすあらゆる動き、と

りわけ集団的自衛権行使容認を急ぐ安倍政権に対し、「策動はただちにやめよ」と強く要求するとともに、「憲法を守り生かそう」の世論と運動を大きなゆるぎないものにするため奮闘することを改めて表明します。

憲法記念日に全国各地でさまざまに取り組まれる行動に、国民のみなさんが参加され、ごいっしょに安倍政権の暴走にストップをかけようではありませんか。